

公益財団法人
日本心臓財団〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1小田急第一生命ビル4階
●Tel 03-5324-0810 ●Fax 03-5324-0822
●e-mail: info@jhf.or.jp ●URL: https://www.jhf.or.jp令和元年度日本心臓財団研究奨励
第33回日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成
助成対象者 発表

日本心臓財団では、循環器領域の研究に携わる少壮研究者を対象に研究助成を実施しています。

本年度は、40歳未満の研究者を対象とする第45回日本心臓財団研究奨励と第10回入澤宏・彩記念研究奨励に35名の応募があり、選考の結果、研究奨励10名、入澤宏・彩記念研究奨励3名、入澤宏・彩記念女性研究奨励1名が選ばれました。

拡張型心筋症治療研究開発助成は、拡張型心筋症の患者さんが、国内で治療することになり、海外での心臓移植を行うために集めた募金を、多くの心臓病患者さんのために役立ててほしいといただいたご寄附をもとに設立された研究助成で、年齢を問わず募集を行

い、8名の応募者より2名が選ばれました。

助成対象者の氏名と研究テーマを2ページより紹介いたします。

また、本年度で第33回を数える海外留学助成は、日本循環器学会後援、バイエル薬品会社の協力により行っております。今回は32名の応募者の中から10名の方が助成対象に選ばれました。

助成対象者の氏名と研究テーマを6ページより紹介いたします。

7月30日より開催される第84回日本循環器学会学術集会(会長:木村剛 京都大学循環器内科学教授)にて贈呈式が行われる予定です。

研究奨励、入澤宏・彩記念研究奨励、拡張型心筋症治療研究開発助成選考委員

(五十音順・敬称略)	委員長	木村 剛	京都大学大学院医学研究科循環器内科学教授
	委員	荒井 裕国	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科心臓血管外科学教授
		伊苅 裕二	東海大学医学部内科学系循環器内科教授
		尾崎 行男	藤田医科大学医学部循環器内科学I教授
		桑原宏一郎	信州大学医学部循環器内科学教室教授
		佐田 政隆	徳島大学大学院医歯薬学研究部循環器内科教授
		佐藤 元彦	愛知医科大学医学部生理学教室教授
		竹石 恭知	福島県立医科大学医学部循環器内科学講座教授
		前村 浩二	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科循環病態制御内科学教授
		的場 聖明	京都府立医科大学大学院医学研究科循環器内科学・腎臓内科学教授

海外留学助成選考委員

(五十音順・敬称略)	委員長	杉 薫	医療法人邦友会小田原循環器病院病院長
	委員	新 博次	医療法人社団葵会南八王子病院病院長
		木村 次郎	独立行政法人労働者健康安全機構 旭労災病院名誉院長
		重松 宏	国際医療福祉大学臨床医学研究センター教授
		増山 理	JCHO星ヶ丘医療センター院長

第45回日本心臓財団研究奨励 対象者

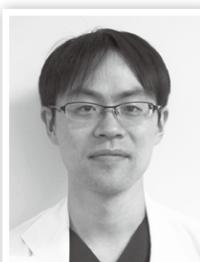
(五十音順・敬称略・奨励金額は各200万円)



安西 淳 (39歳) 慶應義塾大学医学部循環器内科 助教

骨髄造血幹細胞に着目した動脈硬化に対する新規治療標的の同定

高血圧、糖尿病、脂質異常症など既知の動脈硬化危険因子に対する薬物療法や一次・二次予防が普及している今日でも、心筋梗塞・脳梗塞は未だ死因の上位を占め、動脈硬化の残余危険因子をいかに同定するかは我々が解決すべき大きな課題です。動脈硬化巣にはマクロファージなど免疫細胞の集積を認めますが、その性質や産生、集積経路を規定する機序の多くは未だ明らかではありません。本研究では骨髄造血幹細胞に着目した動脈硬化残余危険因子の同定とそれに基づく新たな治療法の開発を目指します。



石垣 隆弘 (34歳) 北海道大学病院循環器呼吸器外科 医員

重症機能性僧帽弁逆流症を伴う非虚血性拡張型心筋症に対する僧帽弁手術の遠隔期成績 - 全国データベース研究

心筋梗塞とは関係なく心筋の障害がおこる「拡張型心筋症」という心臓移植以外に根本的な治療法のない病があります。心臓の拡大に付随する僧帽弁逆流に対しては、弁置換(人工弁に変える)または弁形成(自分の弁をなおす)が行われてきましたが、どちらの術式が優れているかは依然不明です。我々は全国の手術データベースを用いて、死亡や合併症に関わる要因を調べることでより適切な術式選択が可能になることを期待しています。



伊藤 栄作 (33歳) 東京慈恵会医科大学附属柏病院血管外科 助教

腹部大動脈瘤における動脈壁虚血の臨床的意義の解明

腹部大動脈瘤は大動脈の一部が拡張/瘤化し、破裂を来すという疾患です。本疾患の原因は分かっていないことが多く、薬物による進行抑制や発症予防は確立していません。本研究では腹部大動脈瘤の動脈壁自体の血流障害(虚血)が病発症とどのような関係があるかについて、患者さんの実際の動脈瘤の壁を検証することにより明らかにすることを目的としています。これにより将来の薬物治療へ役立てたいと考えています。



伊藤 正道 (37歳) 東京大学医学部附属病院先端臨床医学開発講座 特任助教

ラミン関連拡張型心筋症の治療候補化合物の探索

「拡張型心筋症」とは、原因不明ながら心臓の機能が進行性に衰えていく難病です。遺伝子解析研究の結果、この病気の中の「ラミン遺伝子異常」を持っている患者さんは特に経過が悪いことがわかっています。私はiPS細胞を用いて、患者さんの心臓で認められる異常を試験管内で再現するモデルを作っています。本邦発のiPS技術を、この難病に対する新しい治療薬の開発につなげることを夢見ています。



加藤 勝洋 (39歳) 名古屋大学医学部附属病院循環器内科 病院助教

糖尿病による血管新生ダイナミクス障害の生体内解析

心筋梗塞や末梢動脈閉塞性疾患といった虚血性心血管疾患に対して理学療法や薬物療法、血行再建術や細胞移植による血管再生療法が行われています。しかしながら、糖尿病患者や透析患者は治療抵抗性であり、有効な治療法の開発が望まれています。本研究では、糖尿病など疾患の状態において一細胞レベルで血管内皮細胞の動態を可視化することで血管新生が障害される過程を捉え、新たな治療法の開発につなげていくことを目指します。



木村 舞 (36歳) 慶應義塾大学医学部循環器内科 訪問研究員 (学術振興会)

一細胞RNA解析を用いたアテローム性動脈硬化症の新規発症機序の解明

アテローム性動脈硬化症は、動脈壁にプラークが蓄積することで、脳梗塞や心筋梗塞等の心血管疾患をきたす疾患です。現在の治療法はその危険因子である脂質異常症や糖尿病への介入が主流となっています。本研究では、一細胞RNA解析という近年発展してきた手法を用いることで、同疾患が進行する機序の解明を目的としています。これまでの研究で同疾患モデルの一細胞RNA解析を行っていくつかの新規因子に着目しており、今後疾患との関連を検証することで、新規治療ターゲットの同定を目指しております。



児島 秀典 (34歳) 慶應義塾大学医学部循環器内科 助教

心筋ダイレクトリプログラミングでの成熟型心筋細胞誘導法の確立とその分子機構の解明

線維芽細胞から心筋細胞を直接誘導する心筋ダイレクトリプログラミングは心臓病治療、疾患モデル・創薬に有望ですが、誘導心筋の未熟性が課題となっています。そこで、成熟型心筋を効率的に誘導する手法の確立、分子メカニズムの研究を行っております。誘導心筋が遺伝子発現パターン、形態・機能的に成熟型心筋に類似することを確認しました。その分子メカニズムにエピジェネティックな変化が重要であることを発見しました。この研究を発展させ、臨床応用や生体内での心筋細胞成熟のメカニズム解明に繋がりたいと考えています。



花谷 信介 (39歳) 熊本大学病院循環器内科 非常勤診療医師

線維化のアクティビティに着目した左室リバーシブルモデリングの機序と予測因子の検討

心不全患者における左室拡大や収縮低下の改善は“左室逆リモデリング”と呼ばれ、良好な治療経過と関連することが知られていますが、その予測因子や分子機序は明らかにされていませんでした。本研究では、活性型の線維芽細胞に特異的に発現するhuman epididymis protein 4に着目し、心臓における線維化の活動性や新たな分子機序を検討することで、将来の逆リモデリングの予測法や新規の心不全治療法の確立に寄与したいと考えております。



吉本 武史 (37歳) 国立循環器病研究センター脳血管部門脳神経内科 医員

長寿遺伝子SIRT1活性化による脳血管拡張を介した脳血管障害新規治療法の開発

脳梗塞の治療は、rt-PAによる血栓溶解療法とカテーテルによる機械的血栓除去術のみで、これらの治療は約10%の脳梗塞患者しか享受することができていません。従来の治療法は血栓のみに注目されてきましたが、SIRT1活性化薬レスベラトロールは、血管にフォーカスを当て、血管内皮依存性に脳血管を拡張させることで脳梗塞の画期的予防・治療法となりうることを基礎研究で見いだされ、臨床応用に向けて動き出します。



渡部 浩明 (38歳) 筑波大学附属病院循環器内科 病院講師

急性心筋梗塞後の心血管合併症の予測におけるMDCT遅延造影の有用性の検証

近年、我々は心筋梗塞の急性期に治療として行う経皮的冠動脈形成術(PCI)中に冠動脈に注入した造影剤を利用して、PCI終了直後に心電図同期下に非造影でMDCTを撮像することで遅延造影像が得られることを報告した。この遅延造影所見はMRIの遅延造影や病理学的な壊死組織の範囲と一致することが報告されている。本研究では、この手法を用いて得られたMDCTの遅延造影所見が心筋梗塞後の急性期及び慢性期心血管合併症を評価しうるかを検証する。MDCTの撮像時間は数分程度であり、安全かつ容易に検査を行うことができる。さらにPCIの直後に遅延造影像を得ることができるため、MRIより早期に患者のリスク評価を行うことが可能であり、臨床的意義が高い検査法になると考える。

第10回日本心臓財団入澤宏・彩記念研究奨励 対象者

(五十音順・敬称略・奨励金額は各100万円)



天野 勇治 (38歳) 信州大学医学部医学科免疫・微生物学教室 助教

川崎病の免疫グロブリン療法抵抗性マーカーとしての低頻度一塩基遺伝子多型

川崎病は乳幼児に好発する全身性血管炎です。大半はイムノグロブリン大量静注 (IVIG) 療法により早期寛解しますが、一部治療抵抗性を呈す患者は、高頻度に冠動脈障害を残すことが問題となっています。IVIGへの応答性は炎症強度等患者の状態に左右される一方、遺伝的要因も関与することが解ってきました。本研究では川崎病による冠動脈合併症根絶に向けた治療選択指標の確立を目指し、IVIG抵抗性に関与する遺伝子バリエーションの同定を行います。



川岸 裕幸 (33歳) 信州大学先鋭領域融合研究群バイオメディカル研究所 助教

AT₁アンジオテンシン受容体-βアレスチン系を活性化する新規小児心不全治療薬開発

新生児・乳児期の先天性心不全は高い致死率を示しますが、いまだ世界的にも確立された治療法がありません。私たちは、新生児・乳児期の循環調節にとって極めて重要であり、体内に元々備わっているアンジオテンシンⅡというホルモンの人工的アナログが、ヒト先天性心不全のモデルマウスの寿命を有意に延長させることを発見しました。本研究では、このアナログの作用する仕組みを解明し、新しい小児心不全治療薬の開発を目指します。



堀 美香 (39歳) 国立循環器病研究センター研究所病態代謝部動脈硬化研究室 室長

本邦特有PCSK9遺伝子変異による家族性高コレステロール血症の重症化機序の解明

家族性高コレステロール血症 (FH) は血中の悪玉コレステロール (LDL) を取り込むLDL受容体遺伝子変異が発症に大きく関わりますが、我々はもう一つの原因であるPCSK9遺伝子変異が重なることにより病態が重症化することを明らかにしました。しかしその重症化の機序は不明であることから、患者さんとそのご家族のiPS細胞 (自己多能性幹細胞) を用いて肝細胞を作製して発症機序を明らかにすることで、新しい治療薬の開発を目指します。

第10回日本心臓財団入澤宏・彩記念女性研究奨励 対象者

(敬称略・奨励金額は100万円)



吉田 由理子 (32歳) 東京大学循環器内科 大学院生

血管機能が潜在性左室機能障害に与える影響; HFpEFの病態機序解明と新たな治療戦略の構築

収縮能の維持された心不全 (HFpEF) は心不全の半数以上を占め、現在確立された治療法がない予後不良の疾患である。動脈硬化の進展はHFpEFの発症とかわることが近年示唆されているが、その機序は不明である。我々は従来の方法では検出できなかった早期の心機能低下を、新たな心エコー技術を用いて同定し、HFpEF発症メカニズムの解明及びハイリスク群の早期検出を目指している。研究成果は国民の健康増進のみならず医療経済にも大きく貢献できるものと考えている。

第7回拡張型心筋症治療開発研究助成（ほのかちゃん基金） 対象者

（五十音順・敬称略・奨励金額は各200万円）



伊藤 薫（理化学研究所生命医科学研究センター/
循環器ゲノミクス・インフォマティクス研究チーム チームリーダー）

心不全進展の共通経路を規定する遺伝的基盤の解明

拡張型心筋症は徐々に心機能が低下し、心不全へと至る難治性疾患です。同時に、日本を含む先進国各国では高齢化社会への移行に伴い、心不全患者数と死亡数が急増する‘心不全パンデミック’と言われる現象がおきつつあり、大きな問題となっています。その中で心不全の原因となるような疾患、つまり拡張型心筋症、虚血性心疾患や重度の弁膜症があっても、重症心不全に進展しやすい人とそうでない人がいることが知られていました。私たちは、拡張型心筋症を含む心不全のゲノム医療を実現するために、この“心不全進展感受性”を規定する遺伝子変異を調べる研究を行います。この中で、このような遺伝子変異が具体的に心形態、心機能、長期予後にどのような影響を与えるのかを明らかにし、心不全進展の遺伝的基盤を解明します。この研究で同定された遺伝子変異をマーカーとして用いることによって、個人個人の遺伝型に応じた治療方針決定が可能となり、または原因となる遺伝子変異に対して介入するなど、精密化医療を実現できる可能性があります。

患者さんへの メッセージ

拡張型心筋症の重症化要因の遺伝的基盤を明らかにし、精密な診断・治療につなげることによって、患者様、ご家族に利益を還元する、それが私たちの最重要ミッションであり、かならず実現できるよう粉骨砕身の覚悟で頑張りたいと思います。



今中 恭子（三重大学大学院医学系研究科修復再生病理学 研究教授）

炎症を伴う拡張型心筋症の病態解明とそれを応用した診断・治療法の開発

拡張型心筋症は、徐々に心臓の機能が低下する重篤な病気です。拡張型心筋症には色々なタイプがあり、一部は、ウイルス感染をきっかけとして免疫反応に異常をきたし、気がつかないうちに進行する心筋炎が原因である言われています。このタイプの患者さんは、早期に診断できれば、ステロイドや免疫抑制剤などの内科治療薬によって病気の進行を止められるはずですが、そのために、特殊な鉗子カテーテルを心臓内に入れて、心臓の組織をつまんで採取し、調べる試みがなされていますが、残念ながら、現在のところ診断は簡単ではありません。本研究では、拡張型心筋症の心臓におきている免疫反応の状態や病原体感染を評価し、心筋炎を起こしているかどうか確実に診断する方法の研究開発を行います。心筋炎によって拡張型心筋症を起こしている患者さんを早期に診断できれば、適切なお薬を飲んでいただくことによって、心臓移植や人工心臓を必要とするような重症心不全への進行を抑えることができます。

患者さんへの メッセージ

心筋炎を原因とする拡張型心筋症は、正確に診断できれば、すでに確立された薬剤による治療が可能はずです。患者さんやご家族のご期待に1日でも早く応えられるよう取り組んでまいります。

第33回日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成対象研究者

(五十音順・敬称略・助成金額は各300万円)



安部 一太郎	(35歳)	ハーバード大学(米国)
大分大学医学部附属病院循環器内科・臨床検査診断学講座 特任助教		

心外膜脂肪の質を制御する～心房細動の新たな予防・治療戦略～

心房細動は、非常に頻度の高い頻脈性不整脈です。根治療法として、原因箇所を高周波で焼灼するカテーテルアブレーションが確立されていますが、長期間続いている心房細動では成功率が低下するため、心房細動発症を抑制する予防的治療法の開発が望まれます。最近、心臓の周りに付着する脂肪が、心房細動発症の原因となっている可能性が考えられており、この脂肪の質を制御することで心房細動発症を抑制する、新たなアプローチの開発を目指します。



江尻 健太郎	(36歳)	ジョンズホプキンス大学(米国)
岡山労災病院循環器内科 医長		

心房細動の心不全の進展に与える影響に関する疫学的探索

我が国は世界的に見ても類をみない社会の高齢化を迎えています。それに伴って心不全という病気が増加しています。一方不整脈の一種である心房細動も高齢化に伴って増加しており、高齢者の心不全発症に大きな影響を与えています。しかし、心房細動発症から心不全発症までの期間、および心不全発症を助長する因子などははっきりと分かっていません。留学先では米国の疫学データを用いて、心房細動と心不全発症の時間的な関係について研究を行う予定です。留学先での知見が心不全予防につながるよう頑張ります。



奥谷 孔幸	(34歳)	イリノイ大学(米国)
徳島赤十字病院循環器内科		

冠動脈疾患患者における人工知能を用いたリスク層別化についての検討

高齢化が進む昨今では冠動脈疾患をはじめとする循環器疾患は、世界的にも本邦においても主たる死因となっています。このような状況で、心血管イベントの予測や適切なタイミングでの治療介入を実施することができれば医療費抑制や健康寿命の延伸の観点から非常に重要です。AIを用いて個人のリスク予測の精緻化を行うことができればと考えています。



久保田 暁彦	(38歳)	アルベルト・アインシュタイン医学校(米国)
千葉大学大学院医学研究院循環器内科学 医員		

マウス圧負荷誘発心不全における pericytes の役割の解明

Pericytes(周皮細胞)は血管壁を取り巻いている細胞で、心臓組織にも多く存在しますが、慢性心不全における pericytes の役割は未だ不明です。大動脈縮窄により心臓への圧負荷を増大させ、心不全を引き起こすモデルマウスを用いた予備実験から、pericytes は心臓組織の繊維化に関与する可能性が示されました。私は、心臓の組織修復に関して、世界トップレベルである Frangogiannis 教授の研究室に留学し、圧負荷誘発慢性心不全における pericytes の役割を解明したいと考えます。



福馬 伸章	(38歳)	コロンビア大学(米国)
東京大学医学部附属病院循環器内科 特任臨床医		

エストロゲン、cGMP 経路による新規心不全治療薬開発と性差医療への応用

女性ホルモンの代表であるエストロゲンは個体にとって重要かつ必須であり、作用経路は多岐に渡る。心不全患者の約半数は女性であり、好発年齢においてほぼ閉経後であるが、エストロゲンの欠乏が現行の心不全治療にどのような影響を与えるか、いまだ解明されていない。近年、cGMP 経路を介したエストロゲンの心保護的な経路が解明されつつあり、心不全への治療戦略への応用が期待されている。今回の留学において、cGMP 経路に関する知見を深め、右心不全、HFpEF を含めた広範な心不全に対する新規治療法、性差に基づいた治療法を探索する。



松下 誠人	(37歳)	ラトガーズ大学 (米国)
日本医科大学千葉北総病院循環器内科 助教		

心筋細胞におけるミトコンドリアオートファジーの細胞内シグナルと心不全の関係

オートファジーとは細胞内で異常タンパク質の浄化や飢餓状態におけるタンパク質のリサイクルを行うシステムで、細胞の恒常性維持に関与しています。心不全心筋においてはミトコンドリア(細胞活動に必要なエネルギーを産生する器官)に対するオートファジー機能が衰退していると言われていました。しかし、そこに関与する分子やメカニズムについては未解明の点が多く、今回の留学で心不全モデルマウスを用いて心筋のミトコンドリアオートファジーに関する研究を行う予定です。将来的に細胞内シグナル伝達を標的にした心不全治療の開発に繋がればと考えております。



三島 英換	(37歳)	ヘルムホルツ セントラム ミュンヘン (ドイツ)
東北大学病院腎・高血圧・内分泌科 院内講師		

フェロトーシスを標的とした心臓病・腎臓病の治療薬の開発

フェロトーシスは制御性細胞死の様式の一つであり2012年に報告が行われて以来急速に関連する研究の進展が進んでいます。また心筋症、心移植後免疫応答、急性腎障害、脳卒中等への病態への関与も報告されているためフェロトーシスの薬剤的制御はこれら病態の新規治療法につながることで期待されています。留学先ではフェロトーシス制御薬の探索および各病態への関与の解明について研究を行う予定です。



山添 正博	(37歳)	ハーバード大学 (米国)
東京医科歯科大学大学院循環生理解析学 助教		

心房細動における心臓組織免疫細胞の病態生理学的意義の解明と免疫療法への展開

心房細動は最も頻度の高い持続性不整脈であるとともに、心不全、脳梗塞、認知症のリスク要因として知られている。現在の薬物療法、カテーテルアブレーション治療は奏効率、再発率という点において未だ課題は多い。最近、免疫担当細胞が不整脈発生に関与していることが報告された。そこでより本質的な心房細動治療の礎を探索するために、本留学にて心房細動における免疫担当細胞の役割・機能を解明することを企画している。



吉井 顕	(36歳)	ワシントン大学 (米国)
東京慈恵会医科大学内科学講座循環器内科 助教		

心筋マクロファージ機能とミトコンドリア代謝の連関および病態制御への関与の解明

心筋梗塞など、心筋障害時に遊走されるマクロファージは、組織の炎症を惹起するとともに、修復にも深く関わり、心筋リモデリングを制御することが示唆されます。本研究は、心筋のマクロファージ機能に、ミトコンドリア代謝が関与していることを見出し、そのメカニズムの解明を目的とします。さらに、マクロファージのミトコンドリア代謝を制御することで、早期の組織修復を促し、心筋リモデリング抑制の新たな治療戦略の確立を目指します。



吉田 賢明	(34歳)	アムステルダムユニバーシティーメディカルセンター (オランダ)
麻生飯塚病院循環器内科 医長代理		

肺動脈性肺高血圧症における右室機能障害の機序並びに治療方法の開発

肺動脈性肺高血圧症とは稀な疾患ではありますが、非常に予後不良な疾患であります。近年肺血管拡張薬の開発によりその予後は著しい改善を遂げましたが、未だに重症右心不全に対する有効な手立てがないのが現状です。私は肺高血圧症研究の先進地区である欧州の中でも有数の研究機関であるAmsterdam UMCにおいて最新の知見を元に研究を行い、自身の研究テーマである右室機能障害と自律神経障害の関与について解明し、将来的には日本の肺高血圧診療の発展に寄与したく考えております。

第45回 日本心臓財団「佐藤賞」

日本心臓財団佐藤賞は、当財団の故佐藤喜一郎初代会長を記念して設けられました。近年循環器領域で顕著な業績をあげ、今後もこの分野で中心的な役割を果たすことが期待される50歳未満の研究者1名に贈られるものです。

第45回受賞は研究テーマ「多能性幹細胞を用いた心筋再生治療の開発」により信州大学の柴祐司氏に決定しました。7月30日より開催される第84回日本循環器学会学術集会(会長:木村剛 京都大学循環器内科学教授)にて贈呈式が行われ、賞牌ならびに副賞100万円が贈呈されます。



受賞者

信州大学医学部再生医科学教室
教授

柴 祐司

第44回 日本心臓財団「草野賞」

日本心臓財団草野賞は、当財団の故草野義一初代理事長を記念して設けられました。この一年間に脳血管障害に関する学術雑誌に掲載された40歳未満の研究者の優秀な論文に対し贈られるものです。第44回受賞は「脳梗塞に対する末梢血単核球を用いた新規細胞療法」という論文のテーマで新潟大学脳研究所の畠山公大氏に決定いたしました。8月24日より開催される第45回日本脳卒中学会総会(会長:塩川芳昭 杏林大学脳神経外科学教授)にて贈呈式が行われ、賞牌ならびに副賞50万円が贈呈されます。



受賞者

新潟大学脳研究所臨床神経科学部門
神経内科学分野 特任助教

畠山 公大

第8回「心臓」賞

日本心臓財団・日本循環器学会発行和文投稿誌「心臓」において、2019年の1年間に掲載された論文の中から、編集委員、Advisory Board、日本循環器学会理事の先生方による推薦、選考のもとに、編集委員会にて最優秀賞1論文と優秀賞2論文が第8回「心臓」賞として選ばれました。7月30日より開催される第84回日本循環器学会学術集会(会長:木村剛 京都大学循環器内科学教授)にて贈呈式が行われ、賞状ならびに副賞が贈呈されます。



最優秀賞 (副賞10万円)

関塚 宏光 (富士通クリニック 内科)

現役労働世代における心房細動の有病率と生活習慣との関連

Prevalence and lifestyle-related habits of workers with atrial fibrillation among Japanese working population

(心臓 2019; 51(12): 1261-1268)



優秀賞 (副賞5万円)

吉村 由紀 (高知医療センター 循環器内科)

重度心筋虚血をきたした閉塞性壁内冠動脈アミロイドーシスの1例

Severe ischemic heart disease resulting from obstructive intramural coronary amyloidosis: A case report

(心臓 2019; 51(5): 501-508)



優秀賞 (副賞5万円)

渡邊 紀晶 (庄原赤十字病院 循環器内科)

心不全パンデミックを地域医療から心臓リハビリテーションを通じて考察する

Presume heart failure pandemic by provincial heart rehabilitation

(心臓 2019; 51(10): 1028-1034)

日本心臓財団の主な活動報告(12~2月)

行事

1月10日(金)日本心臓財団研究奨励、入澤宏・彩記念研究奨励、拡張型心筋症治療開発研究助成選考委員会開催。
(本誌1ページより)

1月18日(土)全国心臓病の子どもを守る会 埼玉県支部にて「小さなハートをつなぐPUSH講習」開催。アニメビデオと簡易キットを使用した楽しい心臓蘇生講習「PUSHコース」を心臓病患児とご家族を対象に実施。
(協力:東京PUSHネットワーク)

1月21日(火)日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成選考委員会開催。
(本誌6ページより)

1月30日(木)「心臓」編集委員会
小室一成新編集委員長のもと心臓編集委員会も新しくなりました。(本誌10ページ)

2月12日(水)日本心臓財団50周年記念 健康ハート・シンポジウム開催(下記)

日本心臓財団・日本循環器学会共催のもと、当財団名誉総裁でおられる高円宮憲仁親王妃久子殿下にご臨席いただき、シンポジウムを開催しました。



全国心臓病の子どもを守る会 埼玉県支部にて「小さなハートをつなぐPUSH講習」開催。

日本心臓財団50周年記念 健康ハート・シンポジウム



日本心臓財団は2020年の本年、創立50周年を迎えます。その50周年を記念し、また1975年より提唱している「8月10日は健康ハートの日」が本年ちょうど東京オリンピック・パラリンピックの開催中に当たることから、その前に、スポーツと心臓病について考察する「東京オリンピックに向けて心臓病予防と救急医療を考える」と題した健康ハート・シンポジウムを2月12日に東京(TKPガーデンシティPREMIUM京橋)にて開催いたしました。

本シンポジウムには名誉総裁の高円宮憲仁親王妃久子殿下にご臨席賜り、医療関係者・メディアが約200名参加して下記プログラムが行われました。

第1部 日本心臓財団設立50周年記念 褒賞式

日本心臓財団 功労賞

日本心臓財団の活動に長年貢献いただいた7名の方に高円宮妃殿下よりクリスタルが贈呈されました。受賞者は以下の方々です。改めて感謝申し上げます。

- 西川 章氏
三菱マテリアル株式会社名誉顧問(日本心臓財団代表理事)
- 北村 惣一郎氏
国立循環器病研究センター名誉総長(日本心臓財団常任理事)
- 山口 徹氏
国家公務員共済組合連合会虎の門病院名誉院長(日本心臓財団常任理事)
- 上島 弘嗣氏
滋賀医科大学アジア疫学研究センター特任教授(日本心臓財団評議員)
- 荻野 和郎氏
日本光電工業株式会社名誉会長(日本心臓財団評議員)
- 小柳 仁氏
東京女子医科大学名誉教授(日本心臓財団評議員)
- 平岡 昌和氏
東京医科歯科大学名誉教授(日本心臓財団評議員)



写真左より西川氏、北村氏、上島氏、高円宮妃殿下、荻野氏、小柳氏、平岡氏

日本心臓財団・日本循環器学会 矢崎義雄奨励賞

40歳未満の若手研究者を対象に公募を行い、選考の結果、2名の先生にクリスタル(副賞各50万円)が小室一成選考委員長より贈呈されました。受賞者は下記の先生方です。



写真左より楠瀬氏、末永氏、小室氏

- 楠瀬 賢也氏
徳島大学病院循環器内科助教 徳島大学病院超音波センター 副センター長
- 末永 祐哉氏
順天堂大学循環器内科准教授 順天堂大学大学院心血管睡眠呼吸医学講座准教授

第2部 健康ハート・シンポジウム

講演1:「健康寿命延伸のためのスポーツ」

座長:小室 一成氏
一般社団法人 日本循環器学会代表理事

講師:丸川 珠代氏
自由民主党参議院議員 元東京オリンピック・パラリンピック大臣 元環境大臣



丸川 珠代氏

講演2:「スポーツにおける心臓病予防 ~心臓突然死を防げるか」

座長:野出 孝一氏
一般社団法人 日本循環器学会理事

講師:三田村 秀雄氏
公益財団法人 日本AED財団理事長



三田村 秀雄氏

講演3:「オリンピックにおける救急医療体制」

座長:森村 尚登氏
一般社団法人 日本救急医学会評議員

講師:坂本 哲也氏
一般社団法人 日本救急医学会理事



坂本 哲也氏

2020年 雑誌「心臓」リニューアルと新編集委員のお知らせ

1969年に創刊され、1984年からは日本心臓財団責任編集となった「心臓」は、2005年に編集委員および誌面を一新し、新しいスタートを切りました。さらに2012年より日本循環器学会との共同発行になりました。

2018年には創刊50周年を迎え、わが国の循環器診療50年を振り返り、将来を展望する特集を1年間にわたって掲載いたしました。

そして2020年、新編集委員長に小室一成先生を迎え、編集委員も刷新いたしました。新しい企画とともに、今後も循環器臨床に役立つ学術誌となるよう尽力していきますので、論文投稿・ご購入のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、この雑誌「心臓」を支える教室会員、病院会員も募集しています(12ページ)。

「心臓」編集委員会

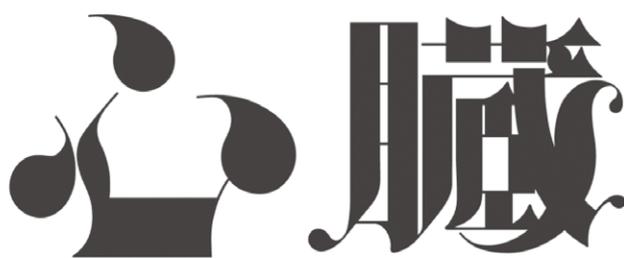
編集委員長 小室 一成	東京大学大学院医学系研究科循環器内科学教授
編集委員 石津 智子	筑波大学医学医療系臨床検査医学病院教授
(50音順) 上原 雅恵	東京大学医学部附属病院循環器内科助教
梅本 朋幸	東京医科歯科大学循環器内科助教
金子 英弘	東京大学医学部先進循環器病学講座特任講師
神谷 健太郎	北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科准教授
窪田 博	杏林大学医学部心臓血管外科教授
香坂 俊	慶應義塾大学医学部循環器内科専任講師
近藤 祐介	千葉大学大学院医学研究院不整脈先端治療学特任講師
島田 悠一	ニューヨーク・コロンビア大学病院循環器内科助教/肥大型心筋症センター研究主任
住友 直方	埼玉医科大学国際医療センター小児心臓科教授
田村 雄一	国際医療福祉大学医学部循環器内科/ 国際医療福祉大学三田病院肺高血圧症センター准教授
縄田 寛	聖マリアンナ医科大学心臓血管外科准教授
野村 征太郎	東京大学大学院医学系研究科重症心不全治療開発講座特任助教
原 英彦	東邦大学医療センター大橋病院循環器内科准教授

編集協力 [Advisory Board]

相庭 武司	浅沼 博司	阿部 幸雄
伊苅 裕二	池田 祐一	井澤 英夫
泉 知里	上村 史朗	尾野 亘
金森 寛充	北岡 裕章	絹川 弘一郎
久保 隆史	近藤 隆久	坂田 泰彦
佐田 政隆	真田 昌爾	副島 京子
高村 雅之	竹内 利治	夢田 浩
田邊 一明	種本 和雄	丹野 雅也
辻田 賢一	土肥 薫	富田 泰史
豊田 茂	永井 利幸	中里 和彦
前川 裕一郎	三浦 伸一郎	
南野 徹	宮田 昌明	矢野 雅文
山口 修	芳村 直樹	渡辺 昌文

1969年創刊、循環器領域唯一の和文投稿誌

月刊



新編集委員長: 小室一成 (東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授)

【HEART's Selection】

最新テーマを基礎、診断、治療面などから多角的にアプローチ

【HEART's Original】

臨床研究や症例報告などのオリジナル投稿論文。Editorial Commentも充実

【HEART@Abroad】「循環器内科医・心臓外科医の海外留学の実際」

現在海外でご活躍されている先生方の留学の経緯や現在を語るエッセイ

【HEART's Column】「デジタル循環器学 Digital Cardiology」

デジタル療法の利活用、新しい医療のカたちについてエキスパートが概説

【HEART's Up To Date】「循環器医が知っておくべき最新のエビデンス」

編集委員が今読むべき最新の主要文献を紹介



発行 <https://www.jhf.or.jp/pro/shinzo/>
公益財団法人 日本心臓財団
一般財団法人 日本循環器学会

制作・販売 <http://www.jmps.co.jp/>
株式会社 日本医学出版
TEL 03-5800-2350

定価 本体価格 2,000円+税
A4変型/100ページ前後
毎月 15日 発売

法人賛助会員の皆様

日本心臓財団の事業の維持と発展にご協力いただいております法人賛助会員のご芳名を感謝の意を表して掲載させていただきます。

(五十音順)			
株式会社アクセル	様	株式会社ジェイ・エム・エス	様
旭化成ゾールメディカル株式会社	様	株式会社スズケン	様
アステラス・アムジェン・バイオファーマ株式会社	様	株式会社SUMCO	様
アボットメディカルジャパン株式会社	様	住友大阪セメント株式会社	様
アステラス製薬株式会社	様	住友金属鉱山株式会社	様
株式会社 池野商店	様	株式会社世界貿易センタービルディング	様
有限会社池野ビルメンテナンス	様	ゼリア新薬工業株式会社	様
宇部興産株式会社	様	第一三共株式会社	様
エーザイ株式会社	様	大正製薬株式会社	様
エドワーズライフサイエンス株式会社	様	ダイナメディックジャパン株式会社	様
MSD株式会社	様	大日本住友製薬株式会社	様
オキシゲンアンドパートナーズ株式会社	様	武田薬品工業株式会社	様
小野薬品工業株式会社	様	株式会社TASLY JAPAN	様
オムロンヘルスケア株式会社	様	田辺三菱製薬株式会社	様
カーディナルヘルス ジャパン合同会社	様	中外製薬株式会社	様
キャノンメディカルシステムズ株式会社	様	帝人ファーマ株式会社	様
救心製薬株式会社	様	テルモ株式会社	様
株式会社協和企画	様	東京海上日動火災保険株式会社	様
キリンホールディングス株式会社	様	東邦亜鉛株式会社	様
株式会社グロー斯拉イフ	様	株式会社東横イン	様
興和創薬株式会社	様	トーアエイヨー株式会社	様
サノフィ株式会社	様	NISSHA株式会社	様
三栄メディスン株式会社	様	株式会社日清製粉グループ本社	様
JX金属株式会社	様	日鉄鉱業株式会社	様
		日本軽金属株式会社	様
		日本光電工業株式会社	様
		日本心臓ペースメーカー友の会	様
		日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	様
		日本メドトロニック株式会社	様
		日本ライフライン株式会社	様
		野村不動産ライフ&スポーツ株式会社	様
		バイエル薬品株式会社	様
		ファイザー株式会社	様
		フクダ電子株式会社	様
		ブルーミング中西株式会社	様
		古河機械金属株式会社	様
		ボストン・サイエンティフィックジャパン(株)	様
		マーケット・メーカーズ・インク	様
		三井金属鉱業株式会社	様
		株式会社三井住友銀行	様
		三菱アルミニウム株式会社	様
		株式会社三菱総合研究所	様
		三菱電線工業株式会社	様
		三菱マテリアル株式会社	様
		明治安田生命保険相互会社	様
		持田製薬株式会社	様

当財団をご支援くださる方

個人賛助会員としてご支援いただいた方のご芳名を感謝の意を表して掲載させていただきます。(2019年12月～2020年2月)
(五十音順)

打田 俊司 様	関口 憲一 様	藤本 善英 様
川崎 雅規 様	瀧本 英樹 様	村田 勝敬 様
北村 和雄 様	樗木 晶子 様	山本 早苗 様
柴田 年世 様	福田 恵一 様	他 匿名希望1名

当財団へご寄附をいただいた方

次の方々からご寄附を賜りました。ご芳名を感謝の意を表して掲載させていただきます。(2019年12月～2020年2月)
(五十音順)

青木 保 様	エドワーズライフサイエンス株式会社 様
小澤 良男 様	越智 秀明 様 梶原 誠 様
坂口 澄子 様	十文字 慶子 様 高橋 靖 様
中村 鞠子 様	日本アエロジル株式会社 様
花澤 曜聿 様	濱西 島子 様 林 朱美 様
福岡 里子 様	福田 扶佐子 様 藤本 やす子 様
前田 元紀 様	松井 義明・美恵子 様
若松 百合子 様	他 匿名希望10名

■セカンドオピニオンへのご寄附

松井 義明・美恵子 様 他 匿名希望1名

■小さなハートをつなぐ基金

薄田 清 様 山内 章三 様

ご寄附のお願い

日本心臓財団は、循環器病を克服するため、研究助成、予防啓発、さらに循環器病に関する皆様からのメール相談などを行ってまいりました。今後もこのような活動を継続させていただきますよう、皆様からのご支援をお待ち申し上げます。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

当財団は公益財団法人の認定を受けておりますので、当財団へのご寄附は税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。

■三井住友銀行 丸ノ内支店

普通 0801474

■三菱UFJ銀行 丸の内支店

普通 4025878

■ゆうちょ銀行

一般振替口座 00140-3-173597

(ゆうちょ銀行〇一九(ゼロイチキュウ)店

当座 0173597)

口座名:公益財団法人 日本心臓財団

ザイ)ニホンシンソウザイダン

教室(医局)・病院(医院)・医師会賛助会員の皆様

日本心臓財団と日本循環器学会が共同発行している月刊誌「心臓」の発行と当財団の運営を支えていただいている賛助会員の皆様を感謝の意を表して掲載させていただきます。

教室(医局)賛助会員

北海道大学循環器内科
札幌医科大学循環器内科
弘前大学循環器腎臓内科
東北大学循環器内科
東北医科薬科大学循環器内科
山形大学第一内科
筑波大学循環器内科
獨協医科大学心臓・血管内科
獨協医科大学埼玉医療センター循環器内科
群馬大学循環器内科
千葉大学循環器内科
埼玉医科大学国際医療センター心臓内科
自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科
日本大学循環器内科
帝京大学循環器内科
帝京大学附属溝口病院循環器内科
帝京大学ちば総合医療センター循環器内科
日本医科大学循環器内科
日本医科大学多摩永山病院循環器内科
日本医科大学千葉北総病院循環器内科
東京大学循環器内科
順天堂大学循環器内科
順天堂大学医学部附属静岡病院
東京医科歯科大学循環器内科

慶應義塾大学循環器内科
東京医科大学循環器内科
東京医科大学八王子医療センター循環器内科
東京慈恵会医科大学循環器内科
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター循環器内科
東京女子医科大学東医療センター心臓血管診療部
昭和大学藤が丘病院循環器内科
東邦大学循環器内科
東邦大学医療センター大橋病院循環器内科
杏林大学循環器内科
横浜国立大学循環器内科
聖マリアンナ医科大学循環器内科
北里大学循環器内科
東海大学循環器内科
東海大学医学部附属八王子病院
新潟大学循環器内科
金沢大学循環器内科
金沢大学先進総合外科
金沢医科大学循環器内科
富山大学第二内科
信州大学循環器内科
浜松医科大学循環器内科
名古屋大学循環器内科
三重大学循環器内科

滋賀医科大学呼吸循環器内科
京都大学循環器内科
京都府立医科大学循環器・腎臓内科
関西医科大学循環器内科
奈良県立医科大学第1内科
大阪大学循環器内科
大阪大学臨床遺伝子治療学
近畿大学奈良病院循環器内科
神戸大学循環器内科
鳥取大学循環器内科
広島大学循環器内科
山口大学循環器内科
香川大学循環器・腎臓・脳卒中内科
徳島大学循環器内科
愛媛大学循環器内科
高知大学老年病・循環器・神経内科
九州大学循環器内科
福岡大学心臓血管内科
佐賀大学循環器内科
長崎大学循環器内科
熊本大学循環器内科
大分大学循環器内科
宮崎大学循環器内科
鹿児島大学心臓血管内科

病院(医院)賛助会員

北海道大野病院
北海道社会事業協会帯広病院
札幌中央病院
札幌心臓血管クリニック
札幌東徳洲会病院
木原循環器科内科医院
旭川リハビリテーション病院
仙台厚生病院
本荘第一病院
三友堂病院
福島赤十字病院
大原総合病院
国際医療福祉大学病院
新小山市民病院
茨城県立中央病院
常陸大宮済生会病院
慶友会慶友整形外科病院
千栄会高瀬クリニック
博仁会第一病院
輝城会沼田脳神経外科循環器科病院
鶴谷病院
蜂谷病院
かわぐち心臓呼吸器病院
北里大学メディカルセンター
埼玉県立循環器・呼吸器病センター
さいたま市民医療センター
深谷赤十字病院
関越病院
東葛病院
板橋中央総合病院
江戸川病院
関東中央病院
榊原記念病院
聖路加国際病院心臓血管センター
虎の門病院
武蔵野赤十字病院
東大和病院
小田原循環器病院

横浜栄共済病院
済生会横浜市南部病院
済生会富山病院
富山赤十字病院
金沢医療センター
抱生会丸の内病院
澄心会岐阜ハートセンター
慈朋会澤田病院
松波総合病院
聖隷浜松病院
市立湖西病院
澄心会名古屋ハートセンター
藤田医科大学ばんだね病院
トヨタ記念病院
永井病院
伊勢赤十字病院
近江八幡市立総合医療センター
宇治病院
京都桂病院
京都第一赤十字病院循環器内科
毅峰会吉田病院
りんくう総合医療センター
小松病院
松下記念病院
北播磨総合医療センター
高清水高井病院
健生会土庫病院
誠佑記念病院
公立那賀病院
新宮市立医療センター
しげい病院
東広島医療センター
済生会広島病院
福山循環器病院
県立広島病院
岩国医療センター
美祢市立病院
済生会今治病院

今治第一病院
喜多医師会病院
近森会近森病院
済生会福岡総合病院
杉循環器内科病院
原三信病院
福岡記念病院
福岡大学西新病院
福岡新水巻病院
小倉記念病院
春陽会うすむら病院
新小文字病院
福岡青洲会病院
済生会熊本病院
大分岡病院
都城市郡医師会病院
青仁会池田病院
鹿児島市医師会病院
鹿児島生協病院
かりゆし会ハートライフ病院
翔南会翔南病院
豊見城中央病院

医師会賛助会員

日本医師会
群馬県医師会
埼玉県医師会
東京都医師会
太田市医師会
沼田利根医師会
藤岡多野医師会
前橋市医師会
上尾市医師会
さいたま市与野医師会
狭山市医師会
本庄市児玉郡医師会
葛飾区医師会